

形状記憶スプリント

再使用禁止

【警告】
適応対象(患者)
 動揺歯牙の固定を目的に使用し、適応症の事前検査を十分に行うこと。

【禁忌・禁止】
適応対象(患者)
 ・本品に対し過剰な咬合負担にならないよう設計し、適応すること。
 [脱落、破損のおそれがある]
使用方法
 ・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

形状・種類

- ・形状記憶スプリントは各サイズ毎に、子袋に分けられて梱包されている。

材質

規格及び純度	成分	原子量	重量
JIS H 2151(1種) スポンジチタン(99.6%以上)	チタン	50%	44%
JIS H 2104(1種) ニッケル地金(99.95%以上)	ニッケル	50%	56%
	合計	100%	100%

性状

- ・未滅菌

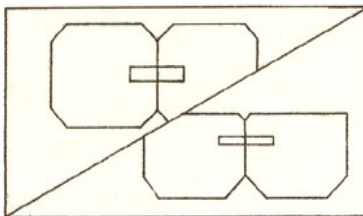
【使用目的、効能又は効果】

歯槽膿漏の治療の際、その治療された歯牙を固定する時に使用する。一般には、隣合った複数の歯牙を固定するには金属ワイヤーをレジン等により固定させるが、その作業は手間が掛かり、又外れやすいものであった。本品は、形状記憶効果によって、簡単に固定を得ることが出来、レジンがはずれにくくなるものである。

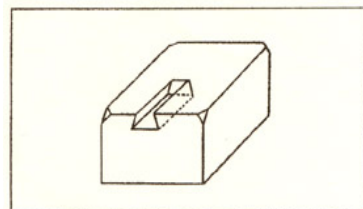
【品目仕様等】

形状記憶スプリントは、歯槽膿漏による動揺歯牙の固定材料として用いる。

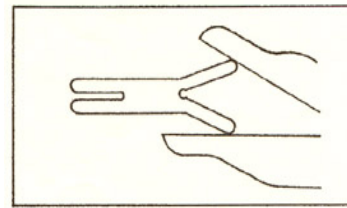
【操作方法又は使用方法等】



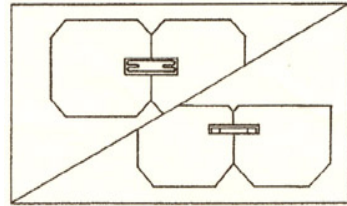
STEP1
 固定及び維持が必要な歯牙を窩洞形成する。深さは、コンタクト・ポイントまでをめどとする。



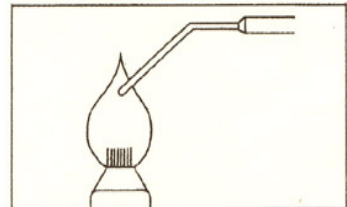
STEP2
 形成はダイヤモンドポイント(インバーテッドコーンタイプ又は、鼓状アマルガム用ダイヤモンド・ポイント等)等でアンダーカットを作る。



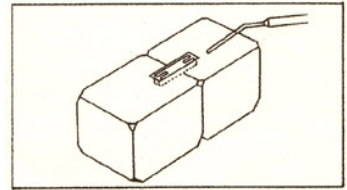
STEP3
 矯正用のプライヤー等でプラグマのウェッジを閉じる



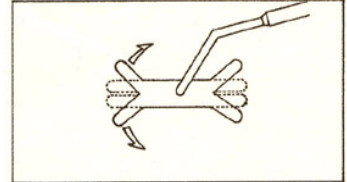
STEP4
 窩洞内のライナー処理(エッチング液塗布、水洗、乾燥、プライマー塗布、ボンディング塗布(ライナー))を行う。



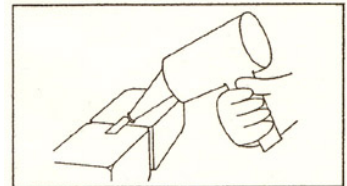
STEP5
 形成した窩洞にプラグマをおく。



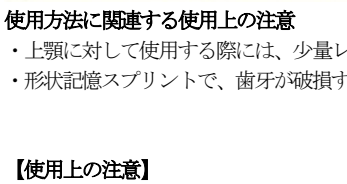
STEP6
 ルートプラグガー等をアルコールランプ等で加熱する。



STEP7
 加熱されたプラグガー等をプラグマボディ中央部に接触させる。



STEP8
 形状記憶効果により、ウェッジが広がる(45°)



STEP9
 レジン充填をする。
 (光重合レジン等)

使用方法に関連する使用上の注意

- ・上顎に対して使用する際には、少量レジンをつけてから入れる方がよい。
- ・形状記憶スプリントで、歯牙が破損することはない。

【使用上の注意】

- ・【性能・使用目的・効能又は効果】の項に記載の用途以外に使用しない事。
- ・歯科医師以外は、使用しない事。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<貯蔵・保管方法>

・直射日光及び高温多湿を避けて保存すること

<使用期間>

・特に使用期間はない

<有効期限・使用期限>

・特に有効期限・使用期限はない

【包装】

03-5 及び 03-7・・・各10本包装

06-5 及び 06-7・・・各10本包装

08-5 及び 08-7・・・各5本包装

10-5 及び 10-7・・・各5本包装

13-15 及び 13-20・・・各5本包装

【製造販売者及び製造者の氏名または名称及び住所等】

製造販売者 日東興業株式会社

住 所 〒465-0095

愛知県名古屋市長区高社1丁目231

エルパティオー社105

電 話 052-760-6501

ファックス 052-760-6503

製造業者 日東興業株式会社

住 所 〒465-0095

愛知県名古屋市長区高社1丁目231

エルパティオー社 地下1階

[添 付 文 書]
形状記憶スプリント
2008.12.08改
P-007 Ver.2